

レアメタル 中部で再生研究会発足

産官学 連携 50団体以上見込む

【名古屋】中部地区で産官学連携による「レアメタル資源再生技術研究会」が12月に発足する。名古屋大学・エコトピア研究所の伊藤秀章・特任教授が提唱する「レアメタル資源再生コンピナート構想」の実現をめざす。レアメタルの排出、回収、再生利用などに携わる企業や大学、研究機関などから50団体以上の参加を見込んでいる。

近年、資源確保に向けた、競争が激化し、高品質、高機能材に使用されるレアメタルの重要性が高まり、リサイクルの回収、再生技術の確立が急務になってきている。モノづくりが盛んな中部地区でも関心が高まってきて

いることを受け、中部経済産業局や各自治体、工業会などの賛同のもと、技術研究会の発足が決まった。

研究会ではシース技術の紹介、情報交換、事業化戦略のプラットホームの確立などを行う。参加は自由で、講演会や情報交換会、説明会などを定期的に開催する予定。また、来年度中には、分野ごとに分科会を設立し、公的な補助金の活用なども視野に、事業化に向けた研究開発を進めていく計画だ。

会長には伊藤教授が就き、事務局はシースエムシー技術開発（本社岐阜県各務原市テクノプラザ1-1、河邊憲次社長）に置く。12月16日には名古屋市内の「ウインクあいち」で設立総会と記念講演会を開催している。

なお、記念講演会では産業技術総合研究所の中村守氏が「レアメタル問題と対策技術の開発」、東京大学の藤田豊久氏が「循環型社会へのレアメタル資源の再生技術と課題」、伊藤会長が「持続可能なレアメタル資源のリサイクルシステム」について講演する。研究会への参加、問い合わせは事務局まで。詳細は以下の通り。

▽電話 058-13

【岐阜】岐阜県産業経済振興センターは、岐阜県工業会と名古屋大学と共催で次世代産業セミナー「写真Ⅱ」レアメタル資源再生・回収技術の最前線」を開催した。当日は県

内外から定員を大きく超える210人が参加するなど大きな関心を集めた。

冒頭、岐阜県産業経済振興センターの豊田良則理事長と岐阜県工業会の牛込進理事長があいさつ。その後、共

立総合研究所の河村宏明主任研究員が「レアメタル資源の現状とリサイクルの動向」、名古屋大学・エコトピア研究所の伊藤秀章特任教授が「レアメタル資源再生・回収技術の最前線」レアメタル資源再

生コンピナート構想の実現に向けて」とついで講演した。また、伊藤教授を中心に設立に向けて動いている「レアメタル資源再生技術研究会」に関する案内なども行われた。



79-0686
▽FAX 058-379-0688
▽E-mail cmctd@bronze.ocn.ne.jp
県内外から
210人参加
岐阜でセミナー